

会 議 録

1 会議名

令和8年度第3回三和区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）報告事項（公開）

- ・地域自治の推進に向けた今後の方策案について

（2）自主的な審議（公開）

- ・三和の自然環境を守りながら、持続可能な農業を目指す取組について
- ・地域コミュニティを維持するための仕組みづくりについて

（3）その他（公開）

3 開催日時

令和8年6月24日（水）午後6時30分から午後8時10分まで

4 開催場所

三和コミュニティプラザ 3階 多目的ホール

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委 員：高橋（鉄）委員（会長）、龍池委員（副会長）、五十嵐委員、池田委員、江口委員、星野委員、牧井委員、松井委員、松栄委員、宮澤委員、宮嶋委員、茂木委員、（欠席2名）
- ・事務局：三和区総合事務所 丸田所長、小山次長、佐藤市民生活・福祉グループ兼教育・文化グループ長、江口地域振興班長、藤澤班長
地域政策課 小酒井副課長、田村（佳）主任

8 発言の内容（要旨）

【議題：地域自治の推進に向けた今後の方策案について】

■ 説明

- ・地域政策課が資料No.1に基づき説明

■ 質疑応答

- ・ 質問／意見：地域協議会の公募制は、協働・共創まちづくり補助事業申請者と委員が一定の距離を置くという状況からすると大賛成である。
- ・ 質問／意見：地域協議会委員の無報酬について、委員の資質や意欲を高める観点からすると、交通費相当の1,200円の現状から検討すべきと考える。
→回答：報酬については、今回見直しせず、現行のままで進めていきたい。
- ・ 質問／意見：地域ビジョンの具体的な策定方法や専門的支援の有無について不明確であり、実務的な進め方を示してほしい。
→回答：地域ビジョンは高度な専門性を求めるものではなく、既存の地域活性化の方向性等を基に段階的に整理することを想定している。既存の地域活性化の方向性5項目が基本になると思われるが、福祉の観点を補強することを考えている。
- ・ 質問／意見：協働・共創まちづくり補助金制度について、地域協議会が地域ビジョンや公益性などを考慮し事業を採択するのか。具体的な審査基準が必要ではないか。
→回答：補助制度の審査は市が責任を持って行い、地域ビジョンに沿っているか地域協議会の意見を参考に市が審査判断する。
- ・ 質問／意見：地域運営組織を立ち上げなければ支援を受けられないのか。既存団体の扱いはどうなるのか。
→回答：支援対象は地域を束ねる組織を想定しているが、新規設置を必須とするものではなく、既存団体を母体とすることも可能である。
- ・ 質問／意見：集落づくり推進委員の設置状況はどうなっているか。
→回答：現時点で具体的な検討は行っておらず、今後の状況に応じて検討する。
- ・ 質問／意見：委員の期数制限が見直されなかった理由について説明を求める。
→回答：様々な意見がある中で制度変更よりも実行機能の強化を優先し、現行制度を維持する判断とした。
- ・ 質問／意見：委員報酬が低額であり、若年層の参加促進の観点から見直しが必要ではないか。
→回答：現時点では見直しは行わないが、今後の意見を踏まえ検討する余地はある。
- ・ 質問／意見：補助制度の申請時期や審査の迅速化について改善が必要ではないか。
→回答：申請締切の延長等により改善を図るとともに、審査方法の簡素化についても検討していく。

【意見交換：市民と市長と対話集会について】

- ・ 質問：子どもの遊び場がないとの意見があり、確かにそう思うが、公民館との兼ね合いや、誰を対象に、どれくらいの人数が利用するのか考えて設置しないと誰も利用しなくなる。遊び場は一から作るものでもないかとも思う。ただ多世代が

交流して何ができるかということは考えて進めていきたい。

- ・ 意見：上から下へ落とす方式の事業やイベントは成功しない。受け手はその事業等の意図に感銘を受け、一緒にやろうという当事者意識を持つような雰囲気づくりが大切である。
- ・ 意見：対話集会時にも多世代交流プレイスは非常に心配だと市長に伝えたが、慌てず柿崎・板倉の運営方法など見極めてから、三和区も動くなら動くほうが賢明である。子どもは大人の目の届かない場所で遊びたいし、毎日開設しても行くかどうか別で、子どもは子ども、高齢者は高齢者同士で話す構図が見える。
- ・ 意見：娘がこどもセンターなどを利用していたが、新しい建物で知り合いがいたりして親同士が交流する場になっていた。設備が新しく清潔感があるので、家よりリフレッシュできるイメージがあるのかもしれない。
- ・ 意見：若い人から市長に意見を伝えてもらえば良かったかなと思う。自宅が火災になり父が消火活動していたが、消火栓はスキルがない人は使ってはいけないので、消防団OBが消火活動を行うと効果的と考え、意見を述べた。
- ・ 意見：三和区以外の方が参加していて、色々な話が聞けて面白かった。三和区の話だけでは煮詰まるので、他地区の対話集会に参加するのも良いと思った。
- ・ 意見：町内で子どもと母親と一緒に遊ぶところを見ていたので、多世代交流プレイスがあると良いと思った。
- ・ 意見：市長は生活の基本的な部分を重視して守ろうとされているので、防災を大切にしていると感じた。子育て事業をやっても災害が起きたらみんな無くなる。
- ・ 意見：三和区以外の人が存在が非常に印象に残った。世代間の交流の必要性を強く感じる。ふれあい食堂も親の目が離れた場所で活動することで、違った目線を見せてくれている。保健センター以外で開催すると違った成果が出ると思う。
- ・ 意見：1人で頑張っている人もいる。団体を作って団体を運営するのもいいが、一人ひとりが動いているそういう人の思いもちゃんと伝われば良いと思う。
- ・ 意見：最近の上越タイムスでも消火栓を今後地域でも使えるように検討する旨の報道があり良かった。

【議題：自主的な審議 A：三和の自然環境を守りながら、持続可能な農業を目指す取組について】

■ Aグループの協議概要

- ・10月25日に開催される「三和まるごと味覚祭」の役割分担、会場レイアウトを説明。
- ・出店者及び郷土芸能の出演交渉の経過について説明。
- ・広報活動として、Instagramのアカウントを開設し、三和区の魅力や情報を発信しており、約10日でフォロワーが200人を超えた。委員からもフォローをお願いしたい。
- ・イベント開催にあたり、賛助会費等の協力をお願いしたい。

【議題：自主的な審議 B：地域コミュニティを維持するための仕組みづくりについて】

■ Bグループの協議概要

- ・住民の交流（お茶飲み会等）が活発に行われている12ブロックのむつみクラブ（旧老人会）の取組みについて説明。
- ・地域協議会からむつみクラブへ地域活性化に向けた一歩進んだ取組みを依頼した。
- ・むつみクラブが抱えている課題について、地域協議会で支援していく。

【事務連絡】

■ 説明

- ・次回の地域協議会：7月27日（月）、午後6時30分～

9 問合せ先

三和区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-532-2323（内線215）

E-mail:sanwa-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。